

## はじめに

NPO/NGO、行政、教育関係、事業者（企業）などは、持続可能な社会を目指して、環境保全活動に取り組んでいます。

一方、私達が暮らしている地域社会では、自然環境の荒廃・少子高齢化・地域活力の低下・貧困・格差の拡大など、多様な問題が起きています。

これらの問題を解決するには、自ら課題を見つけ、学び、考え、客観的に判断し、他者と協力しながら課題解決に向けて行動する力が必要となります。ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）は、そういった力を身に着けるための学びです。（ESD 環境教育モデルプログラム：環境省 HP より）

この ESD を推進していくためには、地域に ESD を担う人が必要です。これまで、千葉県や県内各自治体でも環境保全活動の担い手育成が展開されてきました。しかし、担い手の高齢化や団体の活力低下、働き方の変容など、今後の担い手不足も懸念されています。

さらに、2015 年 9 月の国連サミットで SDGs「Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標」が採択され、2030 年までの目標達成に向けた多様な主体の活動が求められているところです。

そこで、特定非営利活動法人環境パートナーシップちばは、ESD 地域リーダー人材を育成し、SDGs 達成のために ESD 地域リーダーが活躍する場（プラットフォーム）の構築が必要と、2018 年から地球環境基金の助成を受け事業を展開してきました。3 年間で 45 名の ESD 地域リーダーが誕生し、機能するプラットフォームの構成が整いつつあります。

2020 年は、2018 年～2019 年度事業の経験を活かし、主に千葉県南地域に住む方を対象に募集を行い、参加しやすいように、市原地区、南房総地区の 2 会場で開催しました。コロナ禍でしたが、定員（20 名）近くの方が参加されました。

参加者は、地域で活躍されている地球温暖化防止、生物多様性の保全、街づくり、学校の先生など多様な方が集まり ESD の視点を入れるプログラム作りを学びました。また、2018～2019 年度の地域リーダーは、サポーターの立場で協力いただきました。2020 年度もファシリテーター石井雅章氏のご協力によってこれまでのプログラムとの違いに気づき、ESD について考え方を深めることができました。

ここに成果を「ESD プログラム」ガイドブックとして取りまとめました。今後は、ESD 地域リーダーがそれぞれ実施し、ブラッシュアップしながら改良していきます。

まだ検討途上ではありますが、より良いものを目指して常に改良し続けるものとしてご覧いただければ幸いです。また、活用之际にご質問などがございましたら、当会へのお問い合わせをお待ちしております。

本プログラムが、県内で活動している団体などの参考になれば幸いです。